

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	5	ささえあい・雄武		整理番号	80
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	評 価 責任者	財務企画課長	佐々木幸博
単位施策	1	計画行政の推進		税財管理課長	淡路 至尊

1 施策の概要

基本方針	町総合計画や各種分野別計画に基づく政策・施策・事業は、総合計画策定審議会をはじめ、まちづくり町民委員会（仮称）などによる住民関与を高めるとともに、庁内プロジェクトチームの活用などにより、職務間の連携や総合調整を行う。また、行政評価は、事務事業・施策・政策の評価を実施し、住民等による外部評価委員会により、内部評価と合わせて評価水準を高めていく。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	事務事業評価の実施によりPDCAサイクルを確立するとともに、総合計画実施計画のローリングにより次年度予算の財源対策も含めた検証を行い、計画的な行政運営を行っている。「雄武町基本調査」として、町総合計画の見直しの前後の年に実施することで、平成21年から人口統計が復活した。	各種計画の策定については、パブリックコメントや一般公募委員制度の導入により住民関与を高めている。また、事務事業評価の実施によりPDCAサイクルを確立するとともに、総合計画実施計画のローリングにより次年度予算の財源対策も含めた検証を行い、計画的な行政運営を行っている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	行政評価の評価水準を高める努力を継続する必要があるほか、外部評価の導入に向けては実効性のあるよう、住民関与の仕組みについて幅広く検討していく必要がある。また、「基本調査」の実施にあたっては、中断のない調査の継続実施が課題である。	行政評価の評価水準を高める努力を継続する必要があるほか、外部評価の導入に向けては実効性のあるよう、住民関与の仕組みについて幅広く検討していく必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	外部評価委員会の設置						
	定義等	事務事業・施策・政策評価のための、住民等による外部評価委員会の設置						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							設置
実績値	未設置	未設置	未設置	未設置	未設置			
指標2	指標名	行政改革の進捗率						
	定義等	行政改革大綱推進実施計画における進捗状況						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							90%
実績値	87%（H18）							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
実績値								
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
実績値								
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
実績値								
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
実績値								
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
実績値								

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	雄武町基本調査実施事業	情報統計係	1,873	A	継続/現状維持	A
②	地域政策研究支援事業	企画調整係		C	継続/内容の見直し・変更	B
③	第5期総合計画後期基本計画策定事業	企画調整係	2,924	A	継続/拡充	A
④	固定資産台帳経年変化補正更新委託業務	課税係	1,313	A	継続/現状維持	D
⑤	公用車更新事業	管財係	8,187	A	継続/現状維持	D
⑥	役場庁舎維持管理事業	管財係	387	A	継続/現状維持	D
⑦	公用車車庫建設事業	管財係	3,318	A	終了	D
⑧	複写機（複合機）更新事業	議会庶務係	756	A	終了	D
⑨	議場録音機更新（デジタル化）事業	議事係	436	A	終了	D
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	計画行政の推進については、行政評価から予算編成までの一連の作業が重要であり、現状では機能していると判断する。総合計画の策定にあたっては実態を正確に把握する必要があり、それに伴う客観的データや住民ニーズの把握は必要と考える。
② 有効性	A	行政評価から予算編成までの一連の作業が重要であり、機能していることから有効であると判断する。基本調査では、国勢調査と同様の手法により実施したことと数値の対比等も可能となったほか、まちづくりアンケートも同時に行ったことから有効なデータが把握できた。
③ 効率性	A	行政評価から始まる一連の作業は機能しており、効率的に計画行政が推進されている。基本調査においても統計調査員の協力により経費の抑制に努めたほか、まちづくりアンケートを同時に行うなど効率的な調査により重要な基礎データの把握ができた。
④ 公平性	A	計画行政の推進は町の健全な財政運営上欠くことのできないものであり、公平性に疑問はない。適切な行政施策を講じるためには現状把握と将来予測が不可欠であり、そのためにも人口等の基礎データや住民ニーズの把握は重要である。
⑤ 町民意見の反映	A	第5期総合計画後期計画策定にあたっては町民を対象とした「まちづくりアンケート」を実施し、町民の行政に対するニーズの把握に努めた。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直しすることが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
事務事業評価の実施、総合計画実施計画のローリング等により計画的に行政運営を行っている。後期計画策定にあたっては「まちづくりアンケート」を実施し住民ニーズの把握に努めた。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/拡充	継続/拡充	
後期基本計画及び実施計画の策定作業の本格化に向け、前期計画の検証に基づく後期計画の集約、町民参画（策定審議会、政策公募等）のもと自主自立を促進する地域経営の指針とすべく作業を進めていく。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		